SIC KAWARABAN 2月号 No.201
令和３年（2021年）2月1日（月） Sagamihara Incubation Center さがみはら産業創造センター 編集・発行

入居企業紹介 その179

SIC に入居されている企業様をご紹介します。

“企業と従業員が共に成長していくサポートを目指す！”

【代表プロフィール】

相模原ビジネス教室
代表　波多野 佑典（はたの ゆうすけ）
岡山県出身、相模原市在住

岡山県邑久町（現 瀬戸内市）出身の波多野さんは地元の高校を卒業後、静岡大学に進学しました。大学院では機械工学を専攻し、修了後は相模原市に事業所があったキャタピラージャパン株式会社に入社、生産技術や設備投資などを担当しました。35歳で独立し、現在は中小企業の人材育成支援など、組織コンサルタントとして活動しています。情報収集やネットワークづくりのためにビジネスセミナーなどに参加していたところ、「ロボットビジネスフォーラム」で“相模原市青年工業経営研究会”を知りました。声を掛けたのは同会の現副会長で株式会社シグマ工業代表取締役の沼澤さんで、会の理念に共感して入会、現在も熱心に活動を行っています。

二児（5歳と1歳の男の子）の父親で、休日には家族で山登りを楽しんでいます。

【創業・Desk10入会のきっかけ】

独立後、しばらくは企業経営に関する勉強をしていました。実務の中での経験もあって、企業活動を見渡す視野が徐々に広がっていく折、知人からの紹介で企業の組織コンサルティングに関わりました。仕事として取り組むことになるため、2018年に個人事業主として開業し、クライアント企業とじっくり向き合いながら、手探りながらも様々な案件に取り組みました。企業の人材育成では特に「教える側が出来るようになると信じ続けること」「教えられる側は自身の価値観を明確に言葉にすること」が重要と、波多野さんは考えています。

ＳＩＣが事務局となっている“南西フォーラム”に参加していた時に、Ｄｅｓｋ１０の案内を受けたことが入会のきっかけです。企業支援を行うための環境としてＤｅｓｋ１０やＳＩＣを積極的に活用しています。

波多野さんの個別面談の様子

【事業内容】

現在は地域企業の社員研修のために報告・連絡・相談の定着支援や事業計画書策定のサポートを行っています。育成支援は、小論文の作成による論理的思考の強化、ホワイトボードを使ったプレゼンなど、お客様からのオーダーに合わせて実施しています。得意の英語も活かし、外国人研修生の育成オーダーにも対応し、必要に応じてオンライン会議も活用しています。補助金申請時に必要となる事業計画書の作成は企業インタビューや財務諸表を確認してスピーディーな対応を心掛け、ピーク時にはかなりの案件を同時並行でサポートしました。

【今後の目標】

中小企業やベンチャー企業のため、“組織”という観点から様々なステージで支援が行えるコンサルティング会社に成長させていきたいと考えています。企業経営には理念やビジョン、経営資源や戦略など様々な支援の切り口があります。人材を基盤としながらチャレンジを続ける企業、時には苦境に立つ企業にも貢献し、“社員の成長を信じ続けることができる組織作りを世界中に広げること”が今後の目標です。

相模原ビジネス教室
Desk10会員
URL https://www.sagamihara-biz-class.com/
E-mail: staff@sagamihara-biz-class.com

入居企業トピックス

1月の新聞掲載記事紹介（1月26日時点）

新聞紙上に掲載された企業をご紹介します。
ご紹介する記事はSICに掲示していますので、ご覧ください。

１２月１４日　株式会社ザック　化学工業日報
―５G用基板　導電性ポリマーで新工法―

１月　１日　動物アレルギー検査株式会社　広報さがみはら
―サガミハラに進路を取れ 経営者に聞くミライ目線―

１月　７日　株式会社セラム・グループ　神奈川新聞
―思い出の味お届け　CF活用し、再現―

１月１１日　高瀬総合法律事務所　かながわ経済新聞
―商品開発時から知っておきたい知財のこと―

１月１１日　株式会社セラム・グループ　かながわ経済新聞
―レシピ復活プロジェクト　思い出の味、再現します―

１月２０日　ハイテクインター株式会社　相模経済新聞
―LTEの実証ラボ設置―

１月２２日　動物アレルギー検査株式会社　神奈川新聞
―ビジネスウエーブ
パンデミック（世界的大流行）ウイルス感染症のワクチン開発―

第43回 南西フォーラム

ポストコロナ社会でチャンスをつかめ！

～コロナ禍により明らかになった“これからのビジネス”とは～

内　容

基調講演　16：10～
「変化が加速したビジネス環境と アフターコロナを見据えた取り組みの可能性」
講師：株式会社日本総合研究所 リサーチ＆コンサルティング部門
理事　山田 英司 氏

事例発表①　16：50～
「楽しくなければ、仕事じゃない！ ～常識を覆す高利益率のデジタルものづくりとは～」
講師：HILLTOP株式会社
代表取締役副社長　山本 昌作 氏

事例発表②　17：40～
「コロナにも負けない販売戦略 ～雇用を守りつつ前に進むビジネスモデル～」
講師：株式会社 生活の木
代表取締役　C.E.O　重永 忠 氏

まとめ　18：20～
「フォーラムを振り返って」
講師：株式会社日本総合研究所 リサーチ＆コンサルティング部門
理事　山田 英司 氏

【日　　時】 令和3年（2021年）2月10日（水）16:00～18:30
【方　　式】 オンライン開催（Zoomウェビナー）
【参 加 費】 無料
【定　　員】 100名（申込順）
【担　　当】 磯谷（内線：2024）・安藤（内線：2020）

お申込みはこちら
WEBサイトより

SIC空室情報

（令和3年2月1日 現在）
※お気軽に稲垣・大谷までお問合せください

	部　屋	空室数	賃料/月額（共益費込・消費税抜き）
SIC-1 Startup Lab.	○セミラボB（31.5㎡）	2 ※1	98,400円
	○スモールオフィスA（23.6㎡×2）	1 ※2	157,400円
	○スモールオフィスB（17.3㎡）	2 ※3	64,200円
SIC-2 Creation Lab.	○セミラボ（50.2㎡）	1 ※4	172,700円

※1　うち1部屋については4月から入居可能　※2　二間続き
※3　4月から入居可能　※4　6月から入居可能

Vol.21　ビジネスと経営の実践者が語る経営者セミナー

「すぐやる！」経営術が真価を発揮する時！ ～混迷期に求められるビジネスモデルとは～

老舗企業の三代目社長として就任したのは、日本製Tシャツメーカーが絶滅危惧種にまで落ち込んだ1991年。インターネットの萌芽をいち早く捉え、ビジネスに取り入れた久米繊維工業はTシャツに新たな価値と役割を吹き込んだ。経営という“修羅場”の経験、そしてその先に見えた地域と未来についてご講演頂きます。

【講　　師】 久米繊維工業 株式会社
取締役相談役　久米 信行 氏
【日　　時】 令和3年2月24日（水）16:00～18:00
【方　　式】 オンライン開催（Zoomウェビナー）
【参 加 費】 無料
【定　　員】 100名（申込順）
【担　　当】 中村（内線：1001）・磯谷（内線：2024）

お申込みはこちら
WEBサイトより

ROBOT SEMINAR　ロボット操作教育（基礎コース）

さがみはらロボット導入支援センター

【講　　師】 三菱電機システムサービス株式会社
【日　　時】 令和3年3月17日（水）・18日（木）9:00～17:00（2日間開催）
【会　　場】 さがみはらロボット導入支援センター
（SIC-2 R&DLab.2112号室）
【参 加 費】 10,000円（消費税別）
【定　　員】 4名（相模原市内企業優先。1社1名まで）
【担　　当】 樽川（内線：2025）

※2月中旬に募集開始予定です。開始しましたらHPにアップします。

HPはこちら

SICご来社時のお願い

SICに来社される方へのお願いをHPへ掲載し、センター入口に掲示しております。

センターで商談等される際は、来社の方へ**マスクの着用と受付での手指消毒・検温**をお伝えください。

センターではパーテーションの設置や施設の消毒といった感染症対策を行っています。ご協力のほど、よろしくお願いします。

編集後記

今年の節分は立春の日にちが変わったため、124年ぶりに2月2日になります。今回お話を伺った波多野さんは、高校生に「社長のなり方」講座をした際、働くことに誤解があると感じ、“働くことは共存しあうこと”と伝えたそうです。長い間当たり前と思っていたことが、視点によって変わることを考えさせられます。（佐藤）

★ご意見・ご感想をお待ちしています。 電話：042-770-9119 FAX：042-770-9077 ホームページ：https://www.sic-sagamihara.jp
発行元：株式会社さがみはら産業創造センター（SIC） 〒252-0131 相模原市緑区西橋本 5-4-21 E-mail：koho@sic-sagamihara.jp